

令和元年度 大浦小学校の歩み

一人一人が夢をもち、生き生きと活動し 学びと感動を実感
できる学校づくり



三条市立大浦小学校

〒955-0166 新潟県三条市上大浦666番地

電話 (0256) 46-2018

FAX (0256) 46-2170

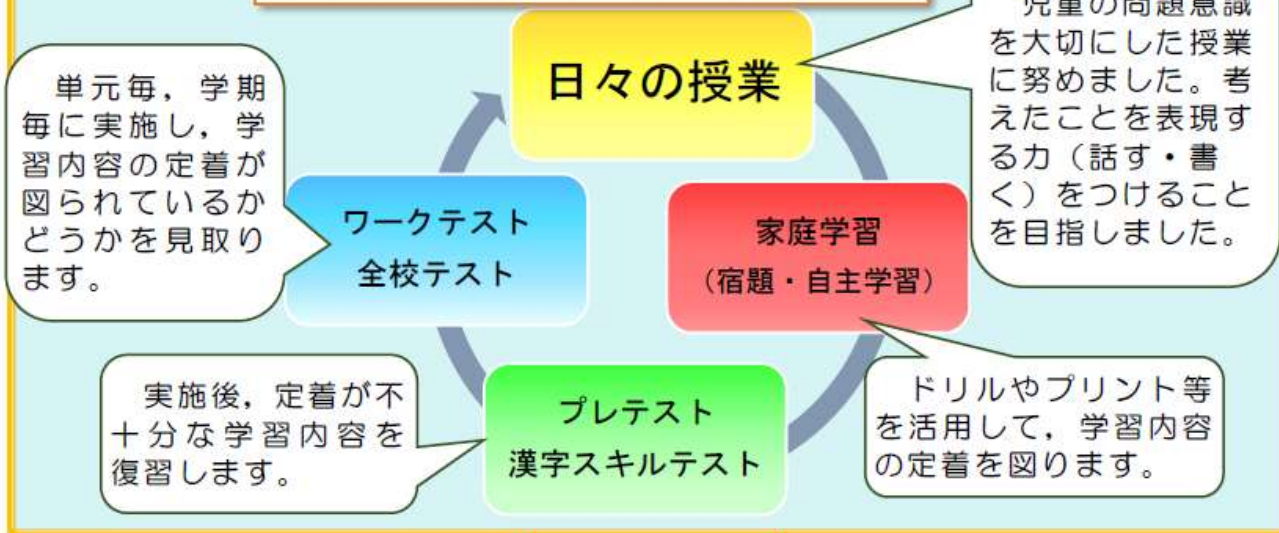
E-Mail ourasyo@ed.city.sanjo.niigata.jp

令和2年3月

学力向上に向けた取組【知】

～基礎・基本と思考力・判断力の向上を目指して～

大浦小学校の「学習スタイル」



よく考え表現する子

学びを支える日常的な取組

朝読書



スピーチ朝会



学びタイム



音読タイム



家庭での学習と本に親しむ取組

- (1) 家庭学習の習慣が身に付くようにいきいきパワーアップ週間を設定しました。(年間4回)
- (2) 三条市立図書館や大いちょうグループ・図書委員会と連携して、本に親しめるようにしました。

生活リズムを整えよう！家庭学習の習慣をつけよう！

いきいきパワーアップ週間～学習・読書～(7月・9月・11月・2月)

【家庭学習】

メディアコントロールの力が生活リズムを整え、家庭学習の習慣をつけるためのカギ！

- 全校国語・算数テストに向けた計画的な学習
- 決められた課題＋自主的な学習に取り組むための家庭学習カードの活用

【学校では…】

- 家庭学習タイム
家庭学習の内容・時間の計画
- いきいきパワーアップカードの点検
子どもに合った励ましや賞賛、アドバイス

家庭学習のやくそく

- ① 家庭学習 (学年×10分以上)
- ② 音読・読書タイム
- ③ いきいきパワーアップカード (自己評価)

【家庭では…】

- ノーマディアタイムの協力
家庭学習に集中させる環境づくり
- いきいきパワーアップカードの点検
自信のもてる励ましや賞賛

【読書】

- 宿題・自主学習としての読書
- 読書の足跡を残す「読書カード」
- ブックトーク(市図書館)や読み聞かせ(上学年)、おすすめの本紹介(児童)、「本の福袋」(児童)による意欲の向上

大いちょう読書会



ブックトーク

本の福袋



上学年によるリーディングパーティ



話の続きが気になるな。今度借りてみよう。

わたしたちは日々、学びつづけています

「よく考え 表現する子」を育てるために、**研究授業**や日々の**授業改善**、**職員研修**をとおして私たち職員は、学びつづけています。今年度は「We ll can を実感できる言語活動の工夫」を目指し、低学年は国語で、中学年は外国語活動で、高学年は外国語で、授業研修を積み重ねてきました。

○職員研修(外国語研修)

2020年度から教科化される5、6年生の「外国語」、新しく導入される3、4年生の「外国語活動」の完全実施に向け、職員で研修を行いました。外国語学習における「学習問題」のつくり方について、三条市教育委員会の指導主事を招聘し、研修を行いました。どのような活動を仕組みと、子どもたちがねらいを達成するために意欲的に学習するかを考え、学び合いました。研修で学んだことをもとに、各学級担任が指導案を作成し、授業を行いました。



○研究授業…1人1回ずつ公開授業をしました。

公開授業までに

【指導案作り】

子どもたちの実態を分析し、研究授業を行う学習内容を決めます。そして、授業者が授業の進め方や支援を考え、「指導案」を作ります。

【指導案の話し合い】

どんな手立て（発問の工夫・話し合いのさせ方）で、子どもたちに力を付けるのか、職員が考えを出し合います。

【公開授業】

全職員と教育委員会の指導主事が授業を参観します。

【協議会】

成果と課題を明らかにします。指導主事から、授業についての指導を受けます。

【まとめの共有】

公開授業で学んだことを共有し、日々の授業に生かしていきます。



子どもが意欲的に取り組める課題になっている？

子どもたちが目を輝かせて授業が進むように、これからも職員で力を合わせて学び続けます。

外国語・国語

子どもたちが、自分の思いや考えを日本語や英語で、積極的に相手に伝えようとする姿が見られます。外国語の授業では、英語を学ぼうという雰囲気が高まってきています。

1年 元気になるサラダのレシピを 家族にプレゼントしよう

「サラダでげんき」という教材文では、書かれてあることを動作に表しながら読んでいくことで、登場人物の様子や気持ちを読み取ったり、想像したりすることができました。最後には、家族が元気になるための材料を一人一人が考えて、オリジナルのサラダレシピを完成させました。



2年 たからものをしょうかいしよう

「たからものをしょうかいしよう」では、実物を見せて、自分が一番大事にしているものを紹介し合いました。順序よく話すことや興味をもって聞くことに気を付けてスピーチをしました。

全員が生き生きと話し、最後まで集中して聞き、自分たちのたからものを十分に紹介し合いました。



3年 What's this? “クイズ大会をしよう”

自分の持っているカードが何か当ててもらうために、3つのヒントを考え、それをクイズにしました。ジェスチャーや外来語、知っている表現を駆使しながら、一人一人が頭をフル回転させ、クイズを作ることができました。

「What's this?」と問いながら活発なクイズ大会を行いました。



4年 Do you have a pen?

「Do you have ~?」という表現を使って買い物ゲームをして、前担任の高野先生が喜ぶ文房具セットをつくるという活動を行いました。子どもたちは高野先生が喜ぶ文房具を熱心に考え、お客とお店役に分かれて会話することで、楽しみながら「Do you have ~?」の表現活動に慣れ親しみました。



5年 「Where is the treasure? (位置と場所)」

「大浦地区で道に迷っている外国人を目的地まで案内しよう」という道案内ゲームを行いました。教室を町に見立て、ゲームを通して「Where is the ○○?」や「Turn right.」「Turn left.」「Go straight.」を使い、外国語に慣れ親しみました。



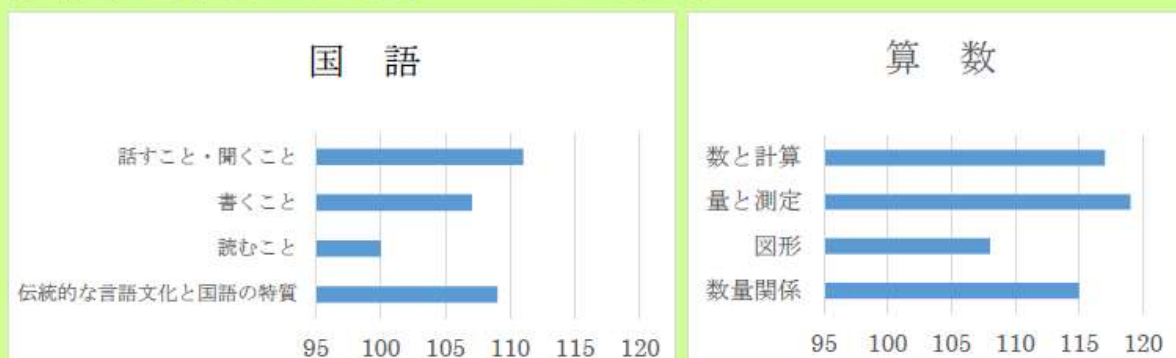
6年 I like my town.

「What do you like?」や「What do you want for your city?」の表現を使って、地域に欲しい施設について伝え合いました。インタビューを通して分かったことをもとに、人気「ベスト3」を予想し、一人一人がポスターにまとめました。自分の思いを、英語を使って表現することができました。



各種テスト結果から見た大浦小学校の学力状況

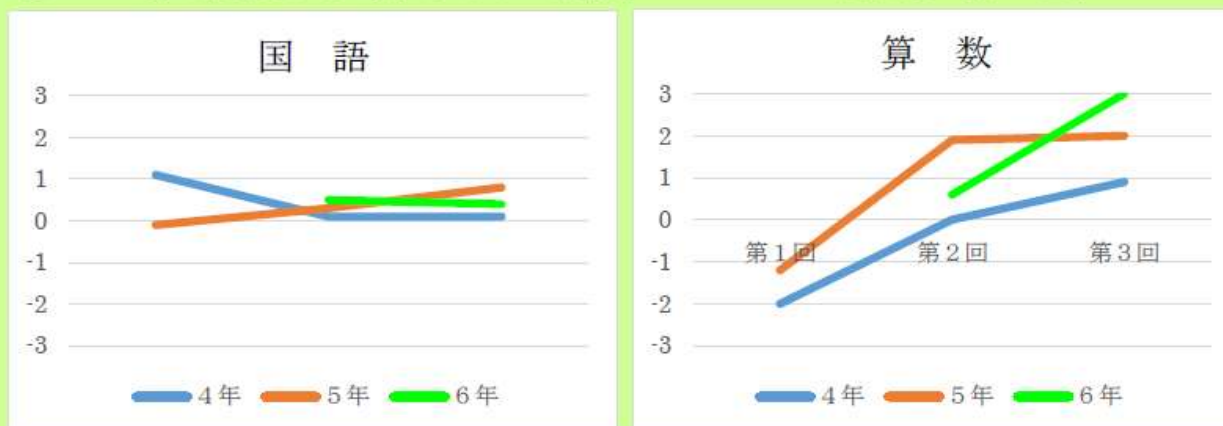
① 標準学力検査NRTより ※ 4月実施



NRTは前学年（昨年度）の学習内容に関する検査です。全国標準は100なので、どの内容も全国標準以上でした。

国語、算数ともに全国平均を上回っており、特に算数で非常に良好な数値が表れています。国語も算数ほどではありませんが、良好な状況です。個に応じた指導を大切にしてきた成果と考えます。しかし、国語の「読むこと」の領域が、全国平均並で、他の領域と比較すると少し注意が必要なようです。学校では読書の時間や国語の授業、家庭学習での音読をとおして「読む力」を育てていきたいと考えています。

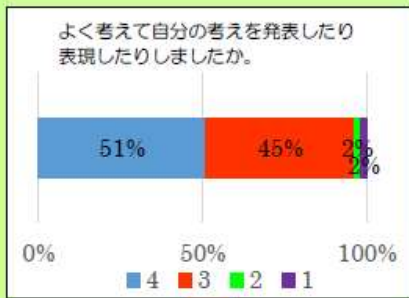
② Web診断問題より（県平均との比較） ※ 5～1月実施（計3回）



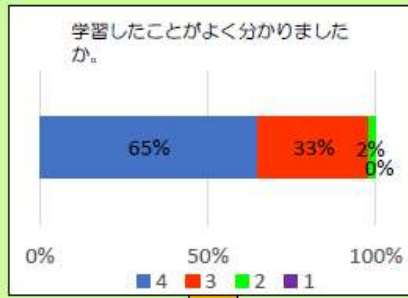
Web診断問題は新潟県教育委員会が学力向上を主な目的として実施しているものです。昨年度は3～6年生を対象に10回実施しましたが、今年度は4、5年生を対象に3回、6年生を対象に2回実施しました。6年生の第1回がないのは、全国学力・学習状況調査があるため全県で実施していないからです。縦軸の0が県平均を表しています。

国語は全学年ともに県平均の少し上に位置しているのに対し、算数は、どの学年も初回以降数値が大きく上昇していき、最後は良好な結果となりました。国語では指定字数以内に記述する問題で無答が多い傾向でした。問題文から条件に合う部分を探して、それらを組み合わせて解答としてまとめていく力を育成することが課題です。あわせて、最後までしっかり解答する力を育成していきます。

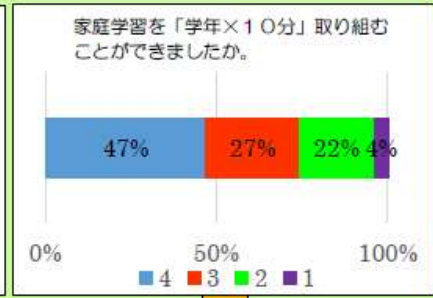
児童アンケート



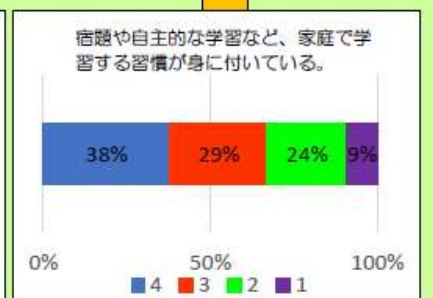
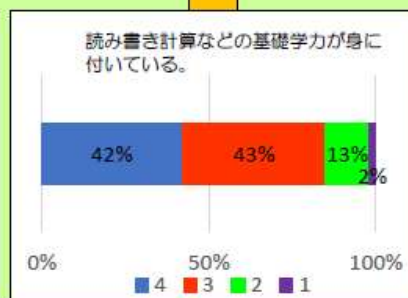
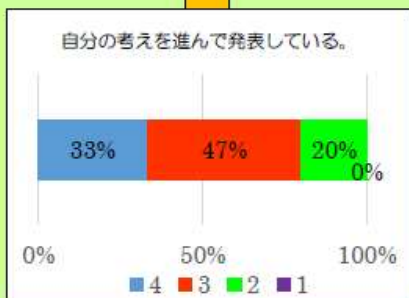
発表



学習



家庭学習



保護者アンケート

■ 4 そう思う ■ 3 大体そう思う
■ 2 あまり思わない ■ 1 思わない

児童・保護者アンケート結果から ※ 12月上旬に実施

- ◆ 発表についての肯定的評価(3, 4の評価)は、児童が96%, 保護者が80%で、昨年度がそれぞれ90%, 77%から少し増加しました。今年度の校内研修のテーマである「よく考え 表現する子どもの育成」を強く意識して指導を重ねた成果が表れたのではないかと考えます。
- ◆ 学習に対する児童の自己評価と保護者の評価は、肯定的な評価(3, 4の評価)の割合が85%以上で良好な結果でした。肯定的な評価の中でも4の評価が児童、保護者共に昨年度よりも9%増加しました。また、否定的な評価でも1の評価が児童で0%, 保護者で2%と昨年度から共に2%減少しました。今後、さらに「わかる」を実感できる学習指導に力を入れていきます。
- ◆ 家庭学習についての肯定的評価は、児童が74%, 保護者が67%でした。昨年度の児童81%, 保護者71%と比較して減少しました。これは家庭学習に取り組めていない児童が児童の自己評価で4人増加したことを示しています。昨年度も一昨年度と比較して家庭学習に取り組めていない児童が増加していて、ここ数年下降傾向にあります。家庭学習の習慣は、お子さんの今後の成長にも大切なことです。学校では、家庭学習カードの活用等を行い、保護者の皆様と協力しながら取組をしていきたいと考えています。

きつな 大浦希繋プロジェクト

～ふるさと大浦に愛着をもち、未来を力強く切り拓く子どもの育成～

「生活・総合」の取組

1年 生活科「おおうら だいすき」

「春は緑色だった大いちょうの木が、秋には黄色になった。」「大浦には、いろいろな虫がいて楽しい。」など、季節ごとにグラウンドを探検し、植物や生き物を観察することで、その移り変わりに気付き、大浦の自然の豊かさを感じることができました。



2年 生活科「大うらたんけんたい」

大浦地区の様々な場所を探検することで、大浦にある「宝物」をたくさん発見しました。探検を通して、身近にあることなのに、今まで気づけなかった、すてきな場所やもの、そして、地域の方々の温かさなど、地域の宝に気付くことができました。

3年 地域学習「くまどう山調べ隊」

熊堂山の植物を観察し、生活に利用できる植物があることを学びました。縄文時代に編まれたアングイン編みや大谷地和紙の原料が熊堂山にも野生していることを知り、実際に制作体験をしました。下田地区の文化にも興味をもつとともに、植物の素晴らしさを味わいました。



4年 環境学習「大浦4年生たんけん隊」

大浦地区の小川で生き物調査をし、小川への愛着を深めた後、五十嵐川について調べました。五十嵐川漁協の飯塚組合長さんからも川や鮭についてのお話を伺い、川のごみを拾ったり、鮭を増やす活動のお手伝いをしたりして、ふるさと川ののためにできることを実行しました。

5年 米の学習「育てよう、私たちの下田米」

田植えや稲刈りを体験しました。近藤さん・藤田さんにご指導いただき、稲の刈り方や束ね方を学びました。機械と違い、手作業の大変さや農家の人の技能を肌で感じるすることができました。また、お米作りの1年間や世界と日本のお米の違いに興味をもち、調べてまとめることができました。



6年 キャリア教育「追跡！プロフェッショナル！」

家族、地域でがんばっている人、専門職に就かれている人に、「働く」ことについてお話を伺いました。また、保育体験や高齢者体験をさせていただきました。働く人の「生き方」に触れ、仕事に対する思いや考え方を学びました。自分の将来の夢や未来について考え始めました。

縦割り活動での交流と成長～大いちょう活動～

大いちょうグループでは、豊かな人間性を育てていきたいと考えています。

- ① 人と関わる喜びや、いろいろな学年や立場の子どもたちを思いやる気持ち
- ② 誰かの役に立てたという成就感と自己有用感
- ③ 自分たちの力で問題を解決していく自主的、実践的な態度



作戦を相談して
チーム対抗タグ鬼ごっこ



励まし合って登る
全校弥彦山登山



アイデアを出し合いみんなで楽しむ
大いちょうフェスティバル



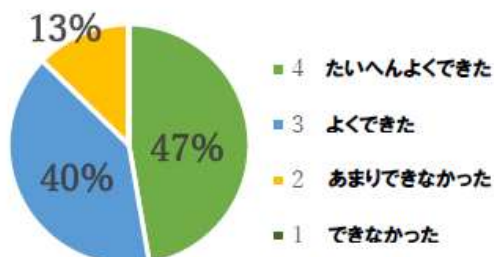
協力し苗を植え育てる
花いっぱい運動

あいさつ運動 ～ハロープロジェクト～

大浦小学校では、年間を通して「元気のよいあいさつ・返事をしよう」を生活目標にし、「ハロープロジェクト」というあいさつ運動に取り組んでいます。今年度は、「元気にあいさつWEEK」の取組を行い、「自分から」「元気に笑顔で」「相手の目を見て」「名前を呼んで」あいさつすることを意識できるようにしました。今後も引き続き、あいさつの向上を目指して取り組んでいきます。

学校生活アンケート(児童)
2学期末実施

だれにでも進んで気持ちのよいあいさつができましたか。



健やかな心と体で めあてを達成する子の育成

体育

楽しく気持ちよく運動できる子の育成に重点を置き、体育カードの活用や外部講師を招いて体育等の活動を行いました。今年度は、プロのサッカー選手を招きました。プロの選手の技術の高さや考え方を肌で感じ、子どもたちの運動の意欲向上に繋がりました。



アルビレックス新潟レディースによるサッカー教室



頑張ったマラソン大会

2学期 児童アンケート
「楽しく、気持ちよく運動できたか」



成果 児童の肯定的評価 94%
保護者の肯定的評価 91%

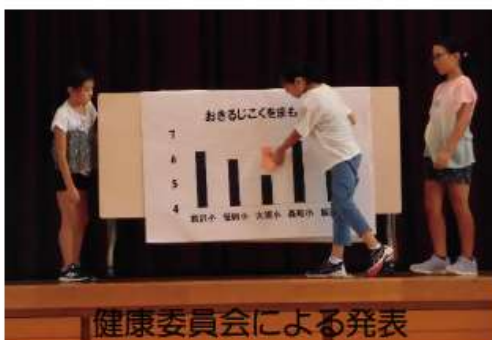
2つの評価はともに90%を超えるという結果でした。
今後も引き続き、体育カードを活用したり外部講師を招いたりするなどし、運動意欲向上のきっかけをつくっていきたいと思います。

保健

しただの郷学園共通いきいきパワーアップ週間(年4回)に取り組み、よりよい睡眠習慣の確立と定着を目指しました。全校に睡眠指導を通して健康への意識を高めたり、健康委員会が児童朝会で睡眠の大切さについて全校に呼びかけたりしました。

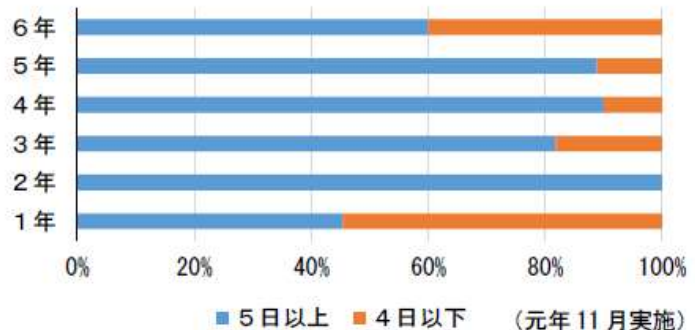


睡眠指導 4年



健康委員会による発表

いきいきパワーアップ週間で5日間以上
就寝時刻を守った児童の割合



成果 就寝時刻が7日間で5日間以上守れた 74.5%

昨年度より少し改善しました。児童アンケートでは、「とてもできた」が微増、「全くできない」が微減しました。今後も家庭と連携して、よりよい生活習慣の定着を目指します。

大浦小学校を支える大浦地域・PTAの取組

大浦地域コミュニティ「元気で明るいまちづくり」

「大浦地域コミュニティ」は、平成22年に“元気で明るいまちづくり”をテーマに掲げ設立され長きに渡り活動を継続してきました。

地域の安全・安心、青少年の健全育成、環境美化、地域活性化は、まちづくりの大きな課題です。

昨年度に引き続き、「三条市コミュニティ支援交付金」を受け、①大浦地区防犯パトロール、②クリスマスイルミネーションin大浦、③環境美化活動、④地域の活性化を図る活動を展開してきました。

子どもの安全・安心のためのまちづくりの取組 ～大浦地区防犯パトロール～

令和元年度の大浦地区防犯パトロール隊はPTAとも合わせ24名です。都合のよい時間に「ながらパトロール」を行いました。防犯パトロールの幟を設置したり、防犯パトロールのマグネットを車に貼り周囲に呼びかけたりしながら防犯活動を推進してきました。おかげさまで、大きな事故やけがもなく元気に登下校しています。



元気な子ども育成のためのまちづくりの取組 ～クリスマスイルミネーションin大浦～

大浦小学校区育成会では、今年度もイルミネーションを設置し、大浦の冬の夜空に幻想的な空間を作りました。点灯式には、子どもたちのクリスマスソングやベルの演奏が響き渡りました。縮小はされたものの出店やゲームコーナーは例年通りに大勢の人で賑わいました。

各紙の新聞にも取り上げられ、家族連れなどの多くの人々が見学を訪れ、撮影していただける方もいました。



環境美化のためのまちづくりの取組 ～大浦希繫(キツナ)プロジェクト～

5年目となった「大浦希繫(キツナ)プロジェクト」では、地域住民と児童・保護者・教職員による春と秋の環境整備作業を行いました。熊堂山遊歩道整備、カンゾウ畑整備、樹木の枝打ち、ヒメサユリ球根植え等を行いました。また、ビオトープや水族館の整備にも力を入れ、年間を通して錦鯉や金魚の飼育にも取り組みました。大きな錦鯉は、ビオトープで悠々と泳ぎ、見に来られた方の目を楽しませました。



地域の活性化のためのまちづくりの取組 ～下大浦地区の取組～

大祭を4月14日、8月16日に実施しました。

神楽奉納と後継者育成、用具の維持管理等を行いました。また、升算公園周辺の除草、トイレ清掃や管理に取り組みました。防災活動では、消火栓修理、消防ポンプ操作、放水訓練を行い、防災意識の向上に努めました。



PTAの取組

春と秋に環境整備作業を行いました。大浦共和会、地域住民と協力し、熊堂山遊歩道の階段設置や下草刈り、グラウンド芝切り、側溝・ビオトープ清掃、ヒメサユリ球根植えなどを行いました。1月のホワイトフェスティバルでは、保体部による親子ジャンボカルタ大会を実施し、親子(三世代)のふれあいと郷土愛を深めました。

春と秋の環境整備作業



